

経営指標について

1. 経営の健全性・効率性

①収益的収支比率（％）

料金収入や一般会計からの繰入金等の総収益で、総費用に地方債償還金を加えた費用をどの程度賄えているかを表す指標。

$$\text{収益的収支比率(％)} = \frac{\text{総収益}}{\text{総費用} + \text{地方債償還金}} \times 100$$

④企業債残高対事業規模比率（％）

料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。

$$\text{企業債残高対事業規模比率(％)} = \frac{\text{地方債現在高合計} - \text{一般会計負担額}}{\text{営業収益} - \text{受託事業収益} - \text{雨水処理負担金}} \times 100$$

⑤経費回収率（％）

使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賄えているか表した指標であり、使用料水準等を評価することが可能。

$$\text{経費回収率(％)} = \frac{\text{下水道使用料}}{\text{汚水処理費(公債負担分除く)}} \times 100$$

⑥汚水処理原価（円）

有収水量 1 m³あたりの汚水処理に要した費用であり、汚水資本費・汚水維持管理費の両方を含めた汚水処理に係るコストを表した指標。

$$\text{汚水処理原価(円)} = \frac{\text{汚水処分費(公債負担分除く)}}{\text{年間有収水量}} \times 100$$

⑦施設利用率（％）

施設・設備が一日に対応可能な処理能力に対する、一日平均処理量の割合であり、施設の利用状況や適正規模を判断する指標。

$$\text{施設利用率(\%)} = \frac{\text{晴天時一日平均処理水量}}{\text{晴天時現在処理能力}} \times 100$$

⑧水洗化率（%）

現在処理区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標。

$$\text{水洗化率(\%)} = \frac{\text{現在推薦便所設置済人口}}{\text{現在処理区域内人口}} \times 100$$

2. 老朽化の状況

③管渠改善率（%）

当該年度に更新した管渠延長の割合を表した指標で、管渠の更新ペースや状況を把握できる。

$$\text{管渠改善率(\%)} = \frac{\text{改善(更新・改良・維持)管渠延長}}{\text{下水道布設延長}} \times 100$$